

方針	1	参加と協働のまちづくりの実践	担当課	政策企画課, 協働推進課, 情報管理課, 関係各課	連絡先	042-481-7368
基本的取組	1-1	参加と協働のまちづくりの実践				
プラン	1	市民参加と多様な主体との連携・協働の推進				

1 プランの内容

市民参加と協働を一層推進するため、調布市審議会等の会議の公開に関する条例や調布市パブリック・コメント手続条例の適切な運用を図るとともに、これまでの参加と協働の実践を通じた課題整理を踏まえて、幅広い意見の把握や多様な主体との連携につながるよう、運用改善や創意工夫に引き続き取り組む中で、調布市市民参加プログラム等の見直しにつなげていきます。さらに、市民等による地域情報化における多様な主体との連携を図ります。

年度別計画	令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例の適切な運用 ◆市民参加プログラム等の課題整理・見直し検討（市民参加・協働の実践を踏まえた運用改善） ◆多様な主体との協働・連携 ◆市民等による地域情報化における多様な主体との連携
-------	-------	--

2 取組状況

前期	【取組計画】（PLAN）	<ul style="list-style-type: none"> ○市民参加・協働実践状況調査により、市民参加手続と協働事業の実践状況を把握・検証するとともに、参加と協働の前提となる市政情報を共有するため、市民参加・協働実践状況報告書として公表します。 ○新入職員等を対象とした職員研修を実施し、参加と協働における実践に必要な知識・技能の習得を図ります。 ○市民参加推進協議会において、参加と協働によるまちづくりを推進するための制度や仕組みづくり等について組織横断的に検討します。 ○パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例の適切な運用を図ります。 ○様々な市民参加手続を実践する中で、運用改善や創意工夫に努めるとともに、市民をはじめ、民間事業者やNPO法人、大学・研究機関等、多様な主体との連携・協働を図りながら参加と協働のまちづくりを推進します。 ○調布地域情報化推進協議会をはじめ、市民等との地域情報化に資する事業の実施に向けた支援を行います。 ○地域情報化に関する情報の収集に取り組みます。
	【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）	<ul style="list-style-type: none"> ○市民参加・協働実践状況調査により、市民参加手続と協働事業の実践状況を把握し、効果や課題等を整理し、また、報告書として公表しました。 ○新入職員等を対象とした研修を実施し、職員の参加と協働に関する理解の促進を図りました。 ○市民参加推進協議会において、参加と協働によるまちづくりを推進するための制度や仕組みづくり等について検討しました。 ○パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例について、実践状況を踏まえた運用改善に努め、適切な運用を図ることができました。 ○様々な市民参加手続を実践する中で、運用改善や創意工夫を継続するとともに、市民をはじめ、民間事業者やNPO法人など多様な主体と連携・協働を図りました。 ○毎月開催される調布地域情報化推進協議会定例会に参加し、情報提供等の支援を行いました。 ○関東ICT推進NPO連絡協議会が開催した「2019ICT東京フォーラム」への支援を行いました。 ○国際大学グローバル・コミュニケーション・センターが開催した「災害時コミュニケーションを促進するICT利活用に関する首長研究会 職員勉強会」に参加し、地域情報化に関する情報収集に取り組みました。
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】（CHECK） ※◎：計画を上回る ○：（概ね）計画どおり △：遅れる	○

後期	【後期における取組の方向性（留意点や見直し、改善など）】（ACTION）	<ul style="list-style-type: none"> ○市民参加・協働実践状況調査により把握した、市民参加手続と協働事業の実践状況に基づく効果や課題等を検証しながら市民参加と協働の仕組みづくりにつなげていきます。 ○市民参加推進研修を実施し、引き続き職員の参加と協働に関する知識の向上、実践的な能力の向上を図ります。 ○様々な市民参加手続を実践する中で、運用改善や創意工夫を継続するとともに、市民をはじめ、民間事業者やNPO法人など多様な主体との連携・協働を図ることで参加と協働のまちづくりを推進します。 ○調布地域情報化推進協議会が令和2年1月に予定している講演会「伝わるデザインと情報発信の極意」の開催を支援します。
	【取組計画】（PLAN）	<ul style="list-style-type: none"> ○市民参加推進研修等による職員研修を実施し、職員の参加と協働に対する知識の定着と実践的な能力の向上を図ります。 ○パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例の適切な運用を図ります。 ○参加と協働の実践を通じた課題整理を踏まえ、幅広い意見の把握や創意工夫に取り組む中で、市民参加プログラム等の見直しを検討します。 ○様々な市民参加手続を実践する中で、継続して運用改善や創意工夫に努めるとともに、市民をはじめ、民間事業者やNPO法人、大学・研究機関等、多様な主体との連携・協働を図りながら参加と協働のまちづくりを一層推進します。 ○調布地域情報化推進協議会をはじめ、市民等との地域情報化に資する事業の実施に向けた支援を行います。 ○地域情報化に関する情報の収集に取り組みます。 ○市民、事業者、教育機関等及び行政の協働による地域情報化を推進するため、地域情報化推進連絡会議を通じた情報共有・連携を図ります。
	【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）	<ul style="list-style-type: none"> ○職員研修を実施することで、参加と協働の推進に関する職員の知識の定着、実践的な能力の向上を図ることができました。 ○パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例について、実践状況を踏まえた運用改善に努め、適切な運用を図ることができました。 ○様々な市民参加手続を実践する中で、幅広い市民意見の把握につながる創意工夫や運用改善に取り組むとともに、市民をはじめ、民間事業者やNPO法人など多様な主体との連携・協働を図ることができました。 ○毎月開催される調布地域情報化推進協議会定例会に参加し、情報提供等の支援を行いました。 ○調布地域情報化推進協議会が令和2年1月に開催した講演会の広報等を支援するとともに、庁内関連部署の職員の参加を促しました。 ○調布市地域情報化推進連絡会議においては、庁内各担当部署での地域情報化の取組について情報共有を図りました。また、同会議に調布地域情報化推進協議会の事務局（調布市地域情報化コンソーシアム）が出席し、本協議会においてまとめた令和元年度地域情報化推進調査報告について情報共有を図りました。

3 年次評価及び総括

年次評価	【今年度の総括（評価の理由、取組による成果・効果）、次年度以降の取組の方向性】（CHECK・ACTION）
A	<ul style="list-style-type: none"> ○職員研修を通じて、引き続き参加と協働に関する知識の定着、実践的な能力の向上を図ります。 ○パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例の適切な運用を図るとともに、市民参加プログラム等に基づく実践を踏まえた課題整理に基づく創意工夫や運用改善に継続して取り組みます。 ○市民と職員が対等な立場で対話するワールドカフェ方式のワークショップなど、新たな取組を含め様々な市民参加手続を実践する中で、運用改善や創意工夫に努めるとともに、市民をはじめ、民間事業者やNPO法人、大学・研究機関等、多様な主体との連携・協働を図りながら参加と協働のまちづくりを一層推進します。 ○地域情報化に関して、市民等が主体となって平成30年度に実施した市民アンケートを踏まえて開催した講演会は、定員を超える応募があるとともに、参加者アンケートでは、今後の地域情報化の推進を期待する内容が多く寄せられ、市民団体等による情報発信の推進につながる取組となりました。また、毎月開催される調布地域情報化推進協議会定例会において、庁内の情報や地域情報化に関する情報を提供することで、活動の支援を行いました。

方針	1	参加と協働のまちづくりの実践	担当課	協働推進課	連絡先	042-481-7036
基本的取組	1-2	参加と協働の推進のための環境整備				
プラン	2	市民活動・地域コミュニティ活動に関する支援の推進				

1 プランの内容		
自主的な市民活動・地域コミュニティ活動の更なる活性化につなげるため、市民活動支援センターにおける様々な相談への対応や情報発信、コーディネート等の取組を推進します。また、交流事業のほか、地域活動情報紙や地域コミュニティサイト「ちょみっと」を活用した市民活動のきっかけづくりを推進します。		
年度別計画	令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民活動・地域コミュニティ活動の支援に関する取組の検討・実施 ◆地域活動情報紙を活用した市民活動のきっかけづくり ◆地域コミュニティサイト「ちょみっと」を活用した情報提供・情報共有の推進

2 取組状況	
前 期	【取組計画】(PLAN) ○市民活動支援センターの運営委員会や定例会議への参加等を通して、運営団体と意見交換を行います。 ○市民活動の活発化を図るため、市民活動支援センターにおける機能・取組について検討します。 ○地域活動情報紙の発行に向けた企画・検討を行います。 ○市民交流事業である「調布まち活フェスタ」の充実、あくろす15周年記念イベントとの連携に向けて検討を行います。 ○地域コミュニティサイト「ちょみっと」で、イベントの紹介を充実させるなど、市民活動の情報発信につなげます。
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK) ○市民活動支援センター運営委員会や定例会議に参加することで、運営団体との意見交換を行いました。 ○市民活動支援センター運営委員会への参加を通じて、市民活動支援センター中長期運営方針に関する意見交換や市民活動支援センターにおける機能の検討・整理を行い、理解が深まりました。 ○地域活動情報紙の発行に向けた、企画・検討を行い、「スポーツ・運動・健康」をテーマとした取材をしたことで、地域の活動をより広く知ることができました。 ○「調布まち活フェスタ」について、昨年度に引き続き市民活動支援センターが主体となって企画・運用するに当たり、実施に向けた方向性を整理しました。また、同時開催のあくろす15周年記念イベントとの連携に向けて、定例会議に参加し、意見交換を行いました。 ○市ホームページと地域コミュニティサイト「ちょみっと」で夏季イベント紹介を行い、サイト内でのアクセス数において上位となるなど市民活動の情報発信につなげました。 ○地域コミュニティサイト「ちょみっと」において、新たに「地域の活動レポート」欄を設け、地区協議会などの地域団体が行うイベントの様子などを掲載したことで、市民活動を知っていただくことにつながりました。
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎：計画を上回る ○：(概ね)計画どおり △：遅れる ○
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し、改善など)】(ACTION) ○市民活動支援センター運営委員会や定例会議への参加により、市民活動支援センターとの連携を強化し、市民活動支援センターにおける機能を検討・整理していきます。 ○市民活動の活発化を図るため、市民活動支援センターとの協働による講座等の開催について検討します。 ○「調布まち活フェスタ」について、同時開催となるあくろす15周年記念イベントとの調整を図るとともに、実行委員会及び出展団体同士の交流が図られるように、市民活動支援センターと協議しながら開催に向けて取り組みます。 ○地域活動情報紙について、11月の発行に向けて準備を進めていきます。
	【取組計画】(PLAN) ○市民活動支援センターの運営委員会や定例会議への参加等を通して、市民活動支援センターにおける機能の発揮を図ります。 ○市民活動の活発化を図るため、市民活動支援センターにおける機能・取組について検討します。 ○地域活動情報紙を発行します。 ○市民交流事業である「調布まち活フェスタ」を、あくろす15周年記念イベントと連携して実施します。 ○地域コミュニティサイト「ちょみっと」で、イベントの紹介を充実させるなど、市民活動の情報発信につなげます。
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK) ○運営団体との意見交換等を通して、今後において市民活動支援センターが担う機能の発揮に向けて検討・整理をしました。 ○「スポーツ・運動・健康」をテーマにした地域活動情報紙を発行し、情報を掲載した団体から「活動を知ってもらえた」との御意見をいただくなど、情報紙を通じて市民活動の普及・促進につなげることができました。 ○第6回調布まち活フェスタは、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催中止になりましたが、実行委員会や出展団体者会議を通して、市民の交流が図られました。 ○地域コミュニティサイト「ちょみっと」において、「地域の活動レポート」を活用したイベント紹介を充実させるなど、市民活動の情報発信を継続的に促進しました。 ○市民活動支援センターと協働で地域人材育成講座を実施し、市民活動の活性化に寄与する取組を推進しました。

3 年次評価及び総括	
年次評価	【今年度の総括(評価の理由、取組による成果・効果)、次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION) ○市民活動の担い手が増えるように、市民活動支援センターにおける機能の発揮に向けて取り組みました。次年度以降は、市民活動支援センターと連携し、意見交換や利用に関するニーズ調査等を行うことで、市民の主体的な活動をより促進します。 ○調布まち活フェスタの実行委員会や出展団体者会議への参加を通して、市民の交流を創出することができました。令和2年度は、より市民活動を活性化させるための実施方法等を検討します。 ○地域コミュニティサイト「ちょみっと」や市ホームページの活用、地域活動情報紙の発行等を通して、市民活動を広く周知させることができました。今後も様々な媒体を活用することで、効果的に市民活動の活性化を図ります。
A	

方針	1	参加と協働のまちづくりの実践			
基本的取組	1-2	参加と協働の推進のための環境整備	担当課	協働推進課	連絡先 042-481-7122
プラン	3	コミュニティ施設の在り方検討			

1 プランの内容

市民の様々な活動の拠点として利用されている地域福祉センター及びふれあいの家について、市民ニーズや求められる機能のほか、双方の施設の関係性、施設運営上の課題を踏まえて、コミュニティ活動の場の確保方策も含めた今後の在り方や方向性を検討・整理します。

年度別計画	令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域福祉センターの利活用促進に関する取組の検討 ◆ふれあいの家における課題の整理
-------	-------	--

2 取組状況

前 期	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域福祉センターの在り方検討を踏まえた施設改善等、実施状況を整理します。 ○他市におけるふれあいの家の類似施設を把握します。 ○地域コミュニティに求められる施設機能を検討します。
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域福祉センターの在り方検討を踏まえ実施した新しい施設機能について、利用者アンケートを実施しました。 ○近隣8市が参加する近隣自治体情報交換会での意見交換や、多摩地域における各自治体のコミュニティ施設の調査を実施することで、今後ふれあいの家の在り方を検討していくうえで参考となる類似施設を把握することができました。また、狛江市と西東京市にヒアリングを実施し、具体的な施設運営の把握に努めました。 ○ふれあいの家運営委員会における施設管理の負担軽減等を目的として、電子錠や券売機等の技術的機器の調査を行い、導入の可能性について検証しました。 ○コミュニティ施設の先進事例の一つである「多世代交流型」の港区・芝の家の視察を実施し、運営管理者から設置目的や運営方法、課題等のヒアリングを行いました。
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎：計画を上回る ○：(概ね)計画どおり △：遅れる	○
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し、改善など)】(ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域福祉センターについては、前期に行った利用者アンケートの集計を行うほか、各センターにおける登録団体の活動内容を整理・分析することで、現在の利用者ニーズの傾向を把握します。 ○ふれあいの家については、類似施設を有する自治体への視察を行い、運営方法等の比較・分析を行います。また、各運営委員会の課題を把握するため、戸別のモニタリング調査を実施します。 ○コミュニティ施設に求められる様々な機能や事例を把握するため、引き続き参考となる自治体へヒアリングを実施します。
	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域福祉センターの在り方検討を踏まえた施設改善等、実施状況を踏まえた利用者ニーズを把握します。 ○ふれあいの家の類似施設を所管している行政へのヒアリング調査を実施し、また、各運営委員会の課題を把握するため、モニタリング調査を実施します。 ○コミュニティ施設における先進事例の取組を行う市へのヒアリング調査を実施します(運営方法等の把握)。
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> ○富士見地域福祉センターでは、利用者の要望を踏まえたバリアフリー化など、施設改善を図った。また、その他の地域福祉センターにおいて、これまでに新たに付加した機能(開放的なロビーや多目的室の設置等)について利用状況を整理しました。 ○ふれあいの家については、類似機能を有する国立市等の施設を対象にヒアリングを行い、施設の運営における課題の整理に取り組みました。また、各運営委員会に対するモニタリング調査と併せて、利用者アンケートを実施し、集会所に求められる機能の把握・分析を行いました。 ○地域コミュニティ施設利用の方向性について整理するため、利用団体の主体である自治会や地区協議会、NPO団体の活動拠点における課題等について整理し、また、地区協議会に類似するネットワーク組織のある茅ヶ崎市など、2自治体のモニタリング調査を実施し、考察を行いました。

3 年次評価及び総括

年次評価	【今年度の総括(評価の理由、取組による成果・効果)、次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION)
A	<ul style="list-style-type: none"> ○行革プラン2015で取り組んでいた「地域福祉センターの在り方検討」を踏まえた新たな機能について、利用状況の分析を行うことで、既存施設における機能付加の有効性について整理しました。 ○指定管理者制度によりコミュニティ施設の運営を行っている近隣自治体や、集会所機能が類似する施設のヒアリング調査を実施することで、他市においても同様の課題があることを把握しました。また、その課題解決の一つとして令和2年度に一部の施設で導入が決定している電子錠の運用データを検証することで、今後のふれあいの家の支援方法を整理します。

方針	1	参加と協働のまちづくりの実践	担当課	広報課, 総務課	連絡先	042-481-7301
基本的取組	1-3	市政情報の積極的な提供				
プラン	4	積極的な市政情報の提供				

1 プランの内容

紙面・インターネット・映像など多様な広報メディアの特徴を生かした効果的な情報提供, 魅力発信と併せて, 市が保有する様々なデータを市民や事業者などが利用しやすい形式で公開・更新します。また, 社会環境の変化を踏まえた各種広報媒体の有効性を検証し, より効果的・効率的な情報提供を推進します。

年度別計画	令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ソーシャルメディア^{*1}を活用した市政情報の提供及び調布のまちの魅力発信 ◆ウェブアクセシビリティ^{*2}ガイドラインに基づく取組の推進 ◆ホームページリニューアルの検討 ◆広報手法の検証及びより効果的な手法の検討, 活用 ◆オープンデータ^{*3}の取組推進
-------	-------	--

^{*1} ソーシャルメディア: 誰もが参加できる広範的な情報発信技術を用いて, ユーザー同士が情報を交換(送受信)することで成り立つメディアのこと
^{*2} ウェブアクセシビリティ: 障害の有無や年齢などの条件に関係なく, 誰もが同じようにインターネット上で提供される情報を利用できること
^{*3} オープンデータ: 行政が保有しているデータを, 機械判読に適したデータ形式で, 二次利用が可能な利用ルールにより公開すること

2 取組状況

前 期	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な広報媒体を活用して積極的に情報発信します。 ○PR映像やポスターを京王電鉄車内で放映・掲出するなど国内外の来訪者に調布の魅力発信をします。 ○時宜に応じた特集ページを設けて調布の魅力発信につなげるほか, より分かりやすい市政情報の提供を行います。 ○動画配信や画像オープンデータの取組を継続し, 市の魅力発信につなげます。 ○「ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会」に向けた総合型機運醸成事業業務受託事業者と連携して効果的な広報活動に取り組みます。 ○報道機関に対して積極的な情報提供を継続し, 調布の話題が多く取り上げられるように, 創意工夫したアプローチを実践します。 ○各部において保有するデータについて, 可能なものからオープンデータとして公開できるよう取組を進めます。 ○オープンデータの推進に継続して取り組むために, 説明会を実施します。
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な広報メディアの特徴を生かしながら, 積極的に市政情報を発信しました。また, インスタグラムの試行実施に取り組み, 調布の魅力フォトコンテスト2019でインスタグラムから投稿できるように工夫しました。 ○ラグビーワールドカップ2019と東京2020大会の開催時に来訪する外国人観光客に市内での周遊を促すため, 英語版のウェブページを開設しました。また, ラグビーワールドカップ2019啓発用インタビューボードを作成しました。 ○調布のPR映像を活用し, 新宿駅構内や京王線・小田急線車内で放映し, また, 府中市と連携し, 両市の魅力を掲載した電車内広告を掲出するとともに, 市の魅力PR映像を京王線車内で放映しました。 ○報道機関に対して積極的な情報提供を継続し, 創意工夫したアプローチを実践しました。 ○市ホームページで公開している観光に関するオープンデータを, 東京都のカタログサイトに掲載しました。 ○職員の意識啓発を目的とした説明会を実施し, オープンデータに対する理解と継続的な取組の推進につなげました。 ○八王子市主催のオープンデータに基づくセミナーに参加し, データ活用の意義について理解することができました。
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎: 計画を上回る ○: (概ね) 計画どおり △: 遅れる	○
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し, 改善など)】(ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き, 様々な広報媒体を活用して積極的に調布の魅力発信や分かりやすい市政情報の提供を行います。 ○調布のPR映像の活用と, ホームページ上での動画配信等の取組を継続し, 市の魅力発信につなげます。 ○市ホームページのリニューアルに向けた全体計画を策定します。 ○緊急災害用ホームページの改修に向けた検討を行います。 ○より効果的な情報発信手法での情報提供を検討します。 ○引き続き可能なものからオープンデータとして公開を進めるとともに, 施設の画像データのオープンデータ化に取り組みます。 ○公表するデータの作成にあたり, 準拠すべきルールやフォーマット等を取りまとめた東京都の推奨データセットに合わせたデータ公開を進めていきます。
後 期	【取組計画】(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な広報媒体を活用して積極的に情報発信します。 ○PR映像やポスターを京王電鉄車内で放映・掲出するなど国内外の来訪者に調布の魅力発信をします。 ○時宜に応じた特集ページを設けて調布の魅力発信につなげるほか, より分かりやすい市政情報の提供を行います。 ○ホームページ上での動画配信や画像オープンデータの取組を継続し, 市の魅力発信につなげます。 ○ホームページのリニューアルに向けて, 全体計画を策定します。 ○緊急災害用のホームページの改修に向けた検討を行います。 ○ラグビーワールドカップ2019, 東京2020大会オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた「ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会」に向けた総合型機運醸成事業業務受託事業者と連携して効果的な広報活動に取り組みます。 ○報道機関に対して積極的な情報提供を継続し, 調布の話題が多く取り上げられるように, 創意工夫したアプローチを実践します。 ○各部において保有するデータについて, 可能なものからオープンデータとして公開できるよう取組を進めます。
	【取組実績及び取組による成果・効果】(DO・CHECK)	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な広報メディアの特徴を生かしながら, 積極的に市政情報を発信しました。 ○ラグビーワールドカップにおいては, 8月に試行実施したインスタグラム等, SNSでのファンゾーンの様子などの発信, 市報やテレビ広報では市内の盛り上がりを取り返る特集を編成することで, まちの魅力の発信につなげました。また, 調布のPR映像を, 新宿駅構内や小田急線車内で放映するほか, 府中市と連携しポスター及びPR映像を京王線車内で掲出・放映しました。 ○英語版のウェブページについては, 市内の飲食店マップの記事を追加するなどの更新を行い, 訪日外国人を対象に, SNS広告による同サイトの周知を図ることで市の魅力を発信しました。 ○台風19号対応として市ホームページ及びツイッターを活用し, 積極的に情報発信しました。また, 調布エフエムやケーブルテレビと連携して情報発信に取り組みました。 ○緊急災害用のトップページは, データ容量軽量化を図るとともに必要な情報を得られやすいようコンテンツの配置を工夫する等改修しました。 ○報道機関に対して積極的な情報提供を継続し, 創意工夫したアプローチを実践しました。 ○市ホームページで公開している調布市の統計書のデータ等のオープンデータを, 東京都のカタログサイトに掲載しました。 ○施設の画像データのオープンデータ化に向けて, 中央図書館の施設内の画像データを収集しました。 ○ホームページのリニューアルに向けて, 作業工程等を示した全体計画を作成しました。
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】(CHECK) ※◎: 計画を上回る ○: (概ね) 計画どおり △: 遅れる	○
	【後期における取組の方向性(留意点や見直し, 改善など)】(ACTION)	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き, 様々な広報媒体を活用して積極的に調布の魅力発信や分かりやすい市政情報の提供を行います。 ○調布のPR映像の活用と, ホームページ上での動画配信等の取組を継続し, 市の魅力発信につなげます。 ○市ホームページのリニューアルに向けた全体計画を策定します。 ○緊急災害用のホームページの改修に向けた検討を行います。 ○より効果的な情報発信手法での情報提供を検討します。 ○引き続き可能なものからオープンデータとして公開を進めるとともに, 施設の画像データのオープンデータ化に取り組みます。 ○公表するデータの作成にあたり, 準拠すべきルールやフォーマット等を取りまとめた東京都の推奨データセットに合わせたデータ公開を進めていきます。

3 年次評価及び総括

年次評価	【今年度の総括(評価の理由, 取組による成果・効果), 次年度以降の取組の方向性】(CHECK・ACTION)
A	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的な情報発信により, 昨年度よりも多くのメディアに市政情報が取り上げられ, 効果的な情報提供につなげました。 ○市報やテレビ広報をはじめ, SNS(Twitter, Facebook及びInstagram)を活用して, 市政情報や台風19号, 新型コロナウイルス感染症に関する緊急情報を積極的に発信することで, 多様な市民ニーズに応えた情報発信を実施しました。併せて, ラグビーワールドカップの開催に伴い, 調布関連の情報を積極的に発信することで, 市内外の多くの方に調布の魅力を伝えることができました。 ○英語版ウェブページの開設により, 訪日外国人に調布の魅力を発信することができました。 ○試行実施しているインスタグラムを含んだフォトコンテストの実施により, 市民協働で若年層をはじめとした多様な世代に市の魅力を発信することができました。 ○台風19号において, アクセス集中による対応に課題があり, ホームページの改修及びネットワーク機能について改善を図ることとしました。 ○市ホームページのリニューアルに向けた全体計画を策定することで, 計画的なリニューアルの実施につながりました。 ○市報の紙面では表現しきれない情報について, 2次元コードを活用するなど, 市民に分かりやすい表現での展開を図ることで情報の充実を図りました。 ○オープンデータの取組に関して, 職員の意識啓発を目的とした説明会を実施するほか, 各課に対して情報公開の観点からオープンデータの積極的な公開を呼びかけたことで, 職員のオープンデータに対する意識やイメージが向上し, オープンデータの積極的な公開につなげることができました。 ○次年度以降も引き続き, 多様な広報メディアを活用した情報発信に取り組みます。また, 各部において保有するデータについて, 可能なものからオープンデータとして公開できるように進めるとともに, 施設の画像データの収集とオープンデータ化に取り組みます。

方針	1	参加と協働のまちづくりの実践				
基本的取組	1-3	市政情報の積極的な提供	担当課	総務課	連絡先	042-481-7370
プラン	5	適正な公文書管理の推進				

1 プランの内容

文書管理システムの適切な運用や研修等を通じて、適正な公文書管理事務を推進することで、市政の透明性・信頼性を高めるとともに、市民共有の財産である公文書の適正な管理・保存・公開に取り組めます。

年度別計画	令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆文書管理システムを活用した文書管理事務の推進 ◆非現用文書*の整理、修復、デジタル化の推進 ◆文書管理に関する研修等の実施
-------	-------	--

*非現用文書：保存期間が満了した公文書のこと

2 取組状況

前 期	【取組計画】（PLAN）	<ul style="list-style-type: none"> ○文書管理システムを活用した公文書の適正な管理を進めます。 ○歴史公文書の修復及びマイクロ・デジタル化を実施します。 ○適正な文書管理に関する研修等を実施します。
	【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）	<ul style="list-style-type: none"> ○文書管理システムの操作方法等の問合せに迅速に対応し、適正な管理を推進することができました。 ○平成30年度末で保存期間を過ぎた文書から、歴史公文書として残す文書（8箱）を選別し、目録作成に着手することができました。 ○歴史公文書の修復の委託契約を締結し、対象となる歴史公文書の引き渡しをすることができました。 ○文書管理について平成30年度の定期監査の指摘事項などを踏まえて実施することで、適切な公文書管理の推進につなげました。
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】（CHECK） ※◎：計画を上回る ○：（概ね）計画どおり △：遅れる	◎
	【後期における取組の方向性（留意点や見直し、改善など）】（ACTION）	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、文書管理システムの安定的な運用に取り組めます。 ○平成30年度末選別歴史公文書について、引き続き、目録の作成に取り組めます。 ○資料修復のデジタル化を行い、公開に向けて取組を進めます。 ○引き続き、文書の適正管理に向けた研修等に取り組めます。
後 期	【取組計画】（PLAN）	<ul style="list-style-type: none"> ○文書管理システムを活用した公文書の適正な管理を進めます。 ○歴史公文書の修復及びマイクロ・デジタル化を実施します。 ○適正な文書管理に関する研修等を実施します。
	【取組実績及び取組による成果・効果】（DO・CHECK）	<ul style="list-style-type: none"> ○文書管理システムの操作方法等の問合せに対応し円滑な運用に努めることにより、公文書の適正な管理を推進することができました。 ○前期に歴史公文書として選別した文書の目録作成を継続するとともに、劣化などが進んでいる資料の修復及びデジタル化を実施しました。 ○町村合併を中心に資料の修復を行うとともに、デジタル化（682コマ）を実施することで、資料の適正な保存などにつなげることができました。 ○平成30年度末に選別した歴史公文書の一次目録を作成することで、歴史公文書を適正に管理できるようにすることができました。 ○文書管理に関する、令和元年度の定期監査の指摘事項などを踏まえた研修等を実施することで、適正な公文書管理の推進につなげました。
	【年度別計画に対する今年度の進捗見込】（CHECK） ※◎：計画を上回る ○：（概ね）計画どおり △：遅れる	◎
	【後期における取組の方向性（留意点や見直し、改善など）】（ACTION）	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、文書管理システムの安定的な運用に取り組めます。 ○平成30年度末選別歴史公文書について、引き続き、目録の作成に取り組めます。 ○資料修復のデジタル化を行い、公開に向けて取組を進めます。 ○引き続き、文書の適正管理に向けた研修等に取り組めます。

3 年次評価及び総括

年次評価	【今年度の総括（評価の理由、取組による成果・効果）、次年度以降の取組の方向性】（CHECK・ACTION）
A	<ul style="list-style-type: none"> ○文書管理システムの適正かつ円滑な運用支援を実施し、文書の適正な管理を推進しました。今後もシステムによる文書の作成から保存までの取組を推進し、電子化率の向上を目指していきます。 ○次年度以降も引き続き、保存期間を過ぎた文書から歴史文書を選別し、目録作成に取り組むほか、劣化などが進んでいる資料の修復・デジタル化を進めていきます。 ○定期監査の指摘事項について、速やかに研修等に取り入れ、適正な公文書管理の推進につなげました。今後も研修等を活用した取組を進めていきます。